

めくれず

拓殖局提出原本

明治四十三年八月廿二日

一 韓國併合條約外十二件會議

〇 本年九月廿六日

一 朝鮮總督府官制外十八件會議

〇 右會議當時、在官者中現在員

(官位勳功級學位、爵)
大正元年八月一日現在

樞密院議長元帥陸軍大將正二位勳功一級公壽山縣 有朋

樞密顧問官 正二位大勳位侯爵 松方 正義

海軍大將正二位勳一等功二級伯爵 樺山 資紀

樞密院副議長 正三位勳一等伯爵 芳川 顯正

樞密顧問官 正三位勳一等子爵 福岡 孝弟

樞密顧問官 正三位勳一等文學博士男爵 細川 潤次郎

樞密顧問官 正三位勳一等子爵 河瀬 眞孝

樞密院

樞密顧問官 海軍中將從二位勳一等子爵中牟田倉之助

樞密顧問官 從二位勳一等男爵 九鬼隆一

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 杉 孫七郎

樞密顧問官 正三位勳一等侯爵 蜂須賀茂韶

陸軍中將從二位勳一等子爵 高島鞆之助

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 伊東 己代治

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 黒田 清綱

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 金子 堅太郎

樞密顧問官 從二位勳一等文學博士男爵 志松 詠澄

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 清浦 奎吾

樞密顧問官 從二位勳一等男爵 南部 甕男

樞密顧問官 從二位勳一等文學博士陸軍中將男爵 加藤 弘之

樞密顧問官 從二位勳一等子爵 青木 周藏

正三位勳一等法學博士男爵都筑馨六
皇太后宮大夫兼大膳頭樞密顧問官正三位勳一等男香川敬三

○右會聚當時在官者中轉任者(官位勳一)
同上現在

農商務大臣 正三位勳一等男 牧野 伸頭

(但明治四十四年八月三日樞密顧問官轉任)

○右會聚當時在官者中死亡者(官位勳一死亡當時)

樞密院副議長 從一位勳一等伯爵 東久世通禧

(但明治四十五年一月四日轉任)

樞密顧問官 正三位勳一等男 大島圭介

(但明治四十五年十月十日轉任)

兼御歌所長正三位勳一等男 高崎正風

(但明治四十五年十月十日轉任)

樞密院

樞密院內官 正三位勳一等男 西 徳二郎

(但明治四十五年三月十日轉任)

宮内省兼樞密院書記官長從二位勳三等 河村金五郎

行政裁判所長兼東京府裁判長樞密院書記官正三位勳三等 清水 澄

樞密院書記官兼樞密院議長秘書官從二位 入江 貫一

樞密院議長秘書官正三位勳六等 松本幹之亮

秘書官從二位 太田代恒光

兼書記官兼內務省兼行政裁判所評定官正三位勳等 柴田駒三郎

(但明治四十四年四月廿七日樞密院書記官轉任)

現在官部入

轉任者中牧野伸六

姓名欄内「○」其當時在官符

年月日

明治八年八月四日

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

（手紙）

件名	伊藤	文	公望	高行	批川	禮副	常任	安勝	忠尾	治崎	不田	仁禮	海田	野村	其岩	友林	葛所	荒曾	助科	親本	雄田	恒大	給	千渡	秋
朝鮮事件貴州開成必要処分件			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
韓国通商條約管理委託三閣委員	○			○					○	○			○	○	○	○									
統監府及支庁官制	○			○									○	○	○	○									
統監府警察職務及支庁官制	○			○									○	○	○	○									
韓国施政及其他閣員職務	○			○									○	○	○	○		○							
統監府臨時閣員及支庁閣員特別待遇	○			○									○	○	○	○		○							
司法及監獄事務委託三閣委員職務	○			○									○	○	○	○		○							
韓國銀行三閣委員職務	○			○														○					○	○	
開闢地及其他三閣委員職務	○			○														○					○	○	
統監府警察職務及支庁閣員職務																									

區 各 元

區 各 元

裏 西 白 紙

現在より内務省指揮

○ 樺山 勲

八年十二月廿三日

一 物産を振興するに当り、陸軍中佐 (陸軍中佐) 大政官

八年十月十日

○ 中牟田 勲

一 韓地を治め、兵隊を多量に送り、地を墾殖するに当り、海軍少将 (海軍少将) 大政官

十四年七月二十日

○ 高志 勲

一 樺州の朝鮮國に於ける事務を、陸軍少将 (陸軍少将) 大政官

十九年十月十日

一 功績
十七年十二月廿日

一 特派全權大使として、参議院を并上、参事として朝鮮國に、参事として、海軍少将 (海軍少将) 大政官

十九年十月廿日

伊東 勲

一 七年朝鮮東省を治め、内閣事務局長に在り、九年以内閣事務

大臣に在り

正院 修門右

八年十二月廿八日

一 執事全權辦理大臣 正院法廷 於朝國 初差卷之 正院中分
九年 正院法廷

廿七年八月十八日

一 御用大臣 朝朝大臣 初差卷 (法判大臣) 由國

廿八年二月十九日

一 御用大臣 朝朝大臣 初差卷 由之

初院 修門右

三十七年三月八日

一 樞密院大臣 樞密院大臣 初差卷 於朝國 初差卷 於朝國
初院 (樞密院大臣) 由之

樞密院

三十八年十月二日

一 同上 由之

○三浦 修門右

三十八年七月

一 仕物初差卷

八月十七日

一 朝鮮國 駐劄 初院 由國

○長年 修門右

五年八月十八日

一 御用大臣 朝朝大臣 初差卷 (外務大臣) 本國

九年十月廿一日

一御用有之朝鮮國草梁館一積善寺(外務省通商手続書) 大政官

十年九月十日

一兼任代理之使 (外務省通商手続書)

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書) 大政官

十一年一月廿日

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

十二年一月廿日 大政官

一御用

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

十三年三月十日 大政官

一御用

樞密院

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

十四年三月十日 大政官

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

十五年三月十日

一御用

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

十六年四月廿日 大政官

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

一御用

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

一御用有之朝鮮國一積善寺(外務省通商手続書)

一助於

(初修乃圖書抄序)

樞密院

積久成之者、内務省指掌

○東曰清陸

明治八年十二月九日

一 朝鮮國釜山浦五島新御所

大政官

九年三月十九日、西宮、無事、賜

仁禮 聖範

明治八年十二月二十三日

一 朝鮮國釜山浦五島新御所

海軍大臣

四年四月二十八日

一 皇田金控辦理大臣護衛、日進、孟春、高砂以上三艘乃海兵
被差遣、釜山着迄右般事務取扱、以上着之上右事務中、年田

樞密院

西都指、揮、海軍

海軍大臣

明治九年一月五日

一 為視察朝鮮國、社、長、官、事

大政官

明治十五年七月三十日

一 朝鮮國奉安、品、河、春、日、國、回、航

但、于、終、全、則、東、也

(海軍大臣、奉安、品、河、春、日、國、回、航、中、終、了、全、也)

樞密院、西國、海軍、大臣

明治十七年八月廿日

一 御用、品、之、朝鮮國、社、長、官、事

宮内省

正海軍大臣、奉安、品、河、春、日、國、回、航、中、終、了、全、也

閣下幹事小枝 昌泰 (書記長)

日八年十二月十三日

一 物布令程辨理方居里田法隆朝鮮國之程善老より隨以枝
仰付を奉り

九年三月初候より

外務省事務長 中村 壽太郎

廿八年十月九日

一 御用如く朝鮮國之程善老

外務省

一 任辨理使

一 朝鮮國駐劄使仰付

廿九年四月八日

一 任物布令程善老使

日年六月朝

樞密院

野村 皓

九年二月十八日

一 御用如く朝鮮國之程善老より

外務省

三月四日 外務省事務長

三月廿三日 事務長

何者 博文

廿七年三月廿日

一 御用如く

今般韓國皇宮御慰問ノ旨下ルニ於テ特派大臣トシテ差遣スル
廿八年十月二日

一 御用如く

中上

○古谷久綱 再任

三十七年三月

一 松尾茂孫長信等仰高博文ヲ特派使トシテ禮進等々賜

仰付

旨由

三十八年十月

一日上

日 上

○大倉 圭介

廿六年七月十日

一 朝鮮國駐劄公使等勅仰付 (奉旨法回駐劄公使) 由

樞密院

廿七年八月四日

一朝鮮事件費ニ関スル財政上必要処分件

三十八年四月廿六日

一韓国通信機關管理委託ニ関スル日韓取極書(報告)

同 年十二月廿日

一統監府及理事廳官制(三十八年十二月十日韓國外交部總理其他ニ関スル

日韓協約ニ関連) 外四件

四十年三月廿七日

一統監府管林廠職員特別任用令(森林經營ニ関スル日韓共同約款

ニ関連) 外一件

四十年七月廿五日

一韓国施政改善及其他ニ関スル日韓協約(報告)

樞密院

四十一年四月八日及同九日

一統監府臨時開島派出所職員特別任用令(開島派出所職員特別任用令)

監理其他開島派出所職員(開連) 外二件

四十二年七月廿四日

一司法及監獄事務委託ニ関スル日韓覽書(報告)

同 年十月十二日

一明治三十九年法律第百六号(韓国ニ於テ裁判事務委託)廢止件(甲)覽書

廿四日司法及監獄事務委託(覽書ニ関連) 外九件

同 年八月十四日

一韓国銀行ニ関スル日韓覽書(報告)

同 年九月八日

一開島境界及其他ニ関スル日清協約(報告)

四十三年六月廿九日

一 警察權委託ニ関スル日韓覚書(報告)

一 統監府警視警部ノ任用及分限ニ関スル件(警察權委託ニ関スル覚

書ニ関連)

外四件

四十三年八月廿二日

一 韓国併合條約

外十二件

日 年九月廿六日

一 朝鮮總督府官制

外十八件

樞密院

廿七年八月四日

朝鮮事件費之関之財政上必要処分ノ件會議

出席者

○竹多 勲

山縣 謙吉

高橋 武

東久世 副議長

緒 〃

○川村 樞

○副島 〃

○佐野 〃

福岡 〃

○尾崎 〃

○田中 〃

○仁禮 〃

○海江田 〃

樞 密 院

細川 〃

○野村 〃

河原 〃

○西園寺 〃

中牟田 〃

終

平田 書記長

道家 書記長

橋本 書記長

三十八年四月廿六日

一轉國通信機關、管理委託三閣元日轉取担者部名

欠

出席者

○伊藤徹長

福田 顧問及

東久世副議長

○尾崎

山名 總理大臣

○甲中

松方

○海江田

樺山

細川

○伊集院

河原

○岩倉

中牟田

○西

大島

丸鬼

島崎

樞密院

杉

伴 總理大臣

高橋

伊東

○野村

○林

尾田

青木

終

三十八年十二月廿日

一統監府及理奉产官初外四件會後

欠

出所表

山和修名

○伊后

滿長

抄方

本名

与海毛

榊山

福田

初門名

○伊来

○田中

〃

○海江田

細川

〃

中年田

河原

〃

高名

大寺

〃

○税所

九名

〃

高崎

〃

杉

樞密院

榊修

〃

伊来

〃

岩倉

〃

○野田

〃

○林

〃

星田

〃

西

〃

青木

〃

終

四十年三月廿七日

一統監府掌林廠職員特別任用令外一件會議

欠

出席者

山手謙吉

東久世 副議長

○伊藤 敏男

○田中 恒男

松方

和川

榊山

中野田

福多

大島

○竹本

九鬼

細川

高崎

河野

杉

高島

榊原

○岩倉

伊東

樞密院

○野村

星田

○林

西

○秋本

金子

栗松

○曾根

清浦

南部

加藤

〃

〃

四十年七月廿五日

一 韓国施政改善及其他、關於日韓協約報告

欠

出存表

在名世副務長

山縣 務長

○伊藤 健司長

福島 健司長

杉方

細川

樺山

河原

○伊藤 健

丸尾

○田中

杉

中島

伊東

大石

○野村

高橋

金子

隆徳

志松

樞密院

高島

清浦

○岩倉

南郷

○林

水島

尾崎

統

西

○秋本

○曾根

めくれす

四十一年四月八日及九日

一統監府臨時開島流定所改定打引任用令の二件令取

八日出席者

九日出席者

東久世副議長

東久世副議長

福岡 徳内官

福岡 徳内官

細川 "

細川 "

河橋 "

中牟田 "

中牟田 "

伊東 "

九鬼 "

西 "

伊東 "

金子 "

西 "

南郷 "

枕所 "

清浦 "

金子 "

南郷 "

清浦 "

加藤 "

南郷 "

加藤 "

加藤 "

加藤 "

本田 "

加藤 "

青木 "

加藤 "

八日
山形 徳内官
伊東 徳内官
杉山
高野
中牟田
伊東
野村
岩倉
生松

樞密院

四十二年七月廿四日

一司比及監獄事務委託三里元日韓英產物告

出奔云

山形修了台

○伊左衛門 衛長

松平

東久世副衛長

○修未

榊山 修門長

大島

福子

九鬼

細川

高崎

河原

吉島

中津田

吉木

杉

新藤

降参

○大統

伊东

樞密院

星田

西

○親云

金子

高松

清浦

菊部

加藤

香川

○渡邊

終

四十二年八月十四日

一 韓國報多三夏元日節免重報告

出席者

○伊藤 敏夫

福吉 徳門名

森久吉 利徳夫

河原 〃

山本 修之助

細川 〃

松方 〃

中津由 〃

榊山 〃

大島 〃

○行末 〃

丸尾 〃

高野 〃

杉 〃

高遠 〃

岸須野 〃

西 〃

伊東 〃

○秋山 〃

黒田 〃

樞 院

吉松 〃

金子 〃

吉本 〃

清浦 〃

都筑 〃

市部 〃

○大橋 〃

○清道 〃

吉川 〃

〃 〃

終

四十二年九月八日

一問之境界及其他 皇元日清協約証書

本邦去

在久野河

○伊高 西長

山和松

河原 砂河原

松戸

中牟田

横山

九志

福島

杉

○竹末

峰野野

細川

伊东

大島

星田

高崎

西

高島

清浦

樞密院

秩父

市部

宇都

川原

本松

終

高木

杉原

○大谷

高川

○沼田

四十二年十月十二日

一明治三十九年法律第六号废止件外九件全数

出布名

山形物産

○伊豆 漆長

松方

車名 副漆長

梅山

福名 物産

○作木

高崎

初川

杉

海陸

降後契

中津

伊東

○大寺

玉田

丸名

産子

高島

赤松

樞密院

西

漆師

○秋山

市部

秋山

加島

○大塚

青木

香川

終

○沼田

四十三年六月廿九日

一 學堂種考記 三 皇元日禱及重報考

一 競盛身學後學部 任用及分限 三 皇元件外四件

出序表

松方 啓辰

山本 謙辰

大島 〃

東久世 副總長

丸鬼 〃

榊山 啓三

高崎 〃

福家 〃

五田 〃

芳川 〃

西

細川 〃

本松

河原 〃

津浦

中津田 〃

初孫

杉 〃

樞密院

香川 〃

松野 〃

高島 〃

伊東 〃

金子 〃

東部 〃

加藤 〃

若木 〃

牧野 〃

終

四十三年八月廿二日

一 韓國併存條約 外十二件 全稿

古希表

奉天 与 豫長

山 与 豫長

北平 与 豫長

神 与 豫長

樺山

芳川

柳川

河 与 院

大 与 院

中 与 院

水 与 院

杉 与 院

高 与 院

高 与 院

伊 与 院

伊 与 院

主 与 院

黑 与 院

青 与 院

西 与 院

樞 密 院

於 院

奎 与 院

清 与 院

辛 与 院

加 与 院

香 与 院

招 与 院

終

四十二年九月廿六日

一朝鮮總督府官制外十八件全稿

書寫者

河野清

山本 謙吉

高志山

車久之 副係長

大寺

松方 修日吉

杉山

榊山

福室

芳川

細川

中津由

丸久

高河

樞密院

杉

增野

伊东

星田

西

金子

吉松

清浦

南部

加藤

高木

香川

牧野